



①モバイル版の活用、②細目書の利用、③ドローン測量について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体： 水土里ネットやまがた

取組概要

- 内容：① 水土里情報システムで構築した背景図や筆区画情報などをスマホやタブレットで確認。
- ② 農業共済細目書(一部地域)と連携した耕区情報を整備。
- ③ 平成28年度よりドローン(UAV)による測量を開始。

- 経緯：① 水土里情報システムの利用者は耕作放棄地や作付作物などの調査に図面を携帯していたが、天候に左右されたり図面の打出しに労力が掛かっていた。
- ② 筆区画情報の整備は進められているが、耕区情報については未整備の状態であった。
- ③ 測量業務に多大な労力が掛かっていた。

イメージ図

①



耕作放棄地の情報を色分けで表示

耕作放棄地を表示した状態

②



農業共済細目書と連動した地番を表示

耕区情報を表示した状態

イメージ図

③ ドローンで撮影した鳥瞰図



期待される効果

- ① 図面に頼ることなく目的地に案内されるため、調査時間の短縮や経費の削減が図られる。
- ② 耕区単位の調査が効率的に行える。
- ③ 気軽にピンポイントでの測量が可能となるため、背景図のデータ更新が頻繁に行われ精度が向上する。また、災害時の立入り困難な箇所での測量が容易となる。

今後の活用予定

- ① 耕作放棄地、作付作物などの現地調査。
- ② 防除、追肥計画策定に利用。
- ③ ほ場整備後のオルソ画像データの更新。

GISシステムのバージョン情報

クライアント版: QGIS Version 2.2.0、QGIS_for_MidoriGIS_2.0

モバイル版: スマホ・タブレットのブラウザ(OS : Android[アンドロイド] , iOS)

Android・・・標準ブラウザ

iOS・・・Safari

■お問い合わせ先

山形県土地改良事業団体連合会 (水土里情報センター) 023-647-5387

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)